

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 京都市域において浸水被害の最小化を目指す「雨に強いまちづくり」(防災・安全)

事業主体名: 京都市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
上位計画等との整合性	
1) 河川整備計画との整合性が確保されている。	○
地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
2) 早期の治水効果発現を踏まえた計画目標の設定がなされている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
目標と事業内容の整合性等	
3) 整備計画の目標と定量的目標の整合性が確保されている。	○
4) 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
5) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
6) 十分な事業効果が確認されている。	○
7) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
8) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
9) 河川改修に関する地元の要望等、事業実施に関する住民のニーズが高い。	○